FGI FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

2018年9月期　第3四半期
決算説明資料

2018年8月

フィンテック　グローバル株式会社

（東証マザーズ：8789）

http://www.fgi.co.jp/

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、
フィンテック グローバル株式会社の登録商標です。

2018年9月期 第3四半期　連結業績概況

売上総利益

投資銀行事業に経営資源を再配分。同事業の売上総利益が65%増

不動産事業子会社売却、メッツァ隣接地の証券化等により確保した資金的リソースや人的リソースを、収益性が高い本業の投資銀行事業に再配分。

前期の新規投資は、企業・アセット投資（流動資産に計上されるものに限る）は8億円に留まったが、当期は3Qまでに36億円に達し、収益獲得のための仕込が進行。

またM＆Aによる航空機AM会社子会社化で、投資銀行事業の売上総利益が452百万円（セグ間取引消去後）（65%）増加。

不動産事業の子会社売却等によって売上高は前期比60.8%減少するも、原価率・販管費率が高い事業モデルのため、営業損益への影響は軽微（不動産事業の前3Qのセグメント利益は107百万円）。

営業利益

メッツァ関連費用により、販管費17%増。営業損益が悪化。

販管費でメッツァ開業準備の先行投資6億円や全社費用8.8億円を計上。

投資銀行事業の売上総利益増加も、航空機AM会社は販管費率が高く、営業利益への影響は限定的。
メッツァ関連費用、全社費用を賄うに至らず。

特別利益

関係会社株式売却益267百万円計上（１Q)

投資先の不動産会社の売却益267百万円は、当該会社が連結子会社であるため、営業利益ではなく、特別利益に計上。

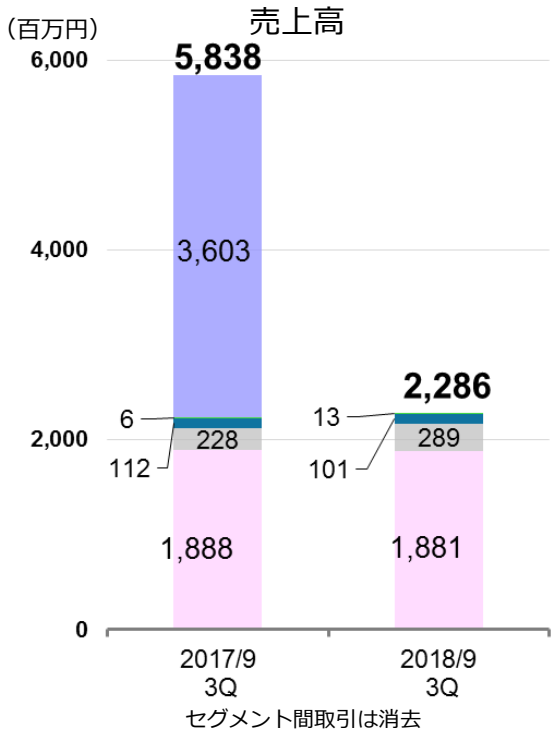
当社グループの経営成績においては、売上高より売上総利益をご覧ください。

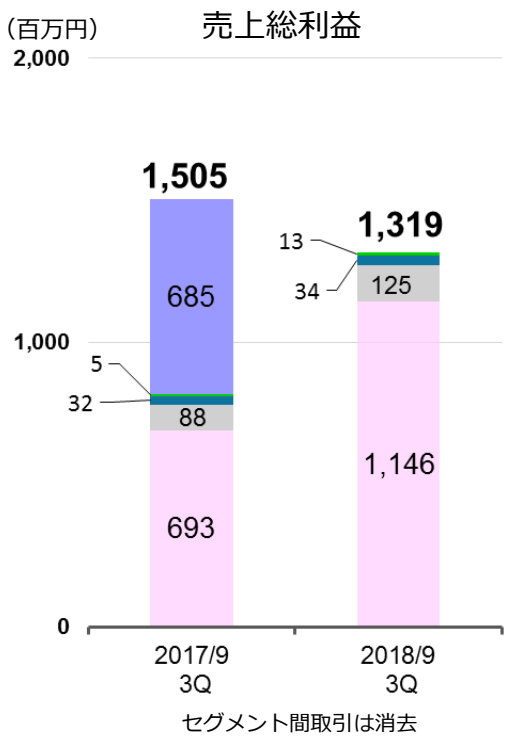
現在の当社グループの「売上高」は、下記の４つに大別されます。
①ファイナンスアレンジ等の業務受託によるフィー収入
②営業投資有価証券の売却・回収、ファンド投資先の収益取込
③投資先の子会社による商品・サービス売上
④アセット売却・回収　（投資先の子会社による事業を含む）
これらのうち、④による売上高は物件売却の有無・金額によって大きく変動するため、これらを含む売上高は当社グループの実質的な経営成績の伸長や悪化を示すものとはいえません。このため、当社グループの収益実態をより分かり易くご理解いただくには、売上高より売上総利益がより適切です。

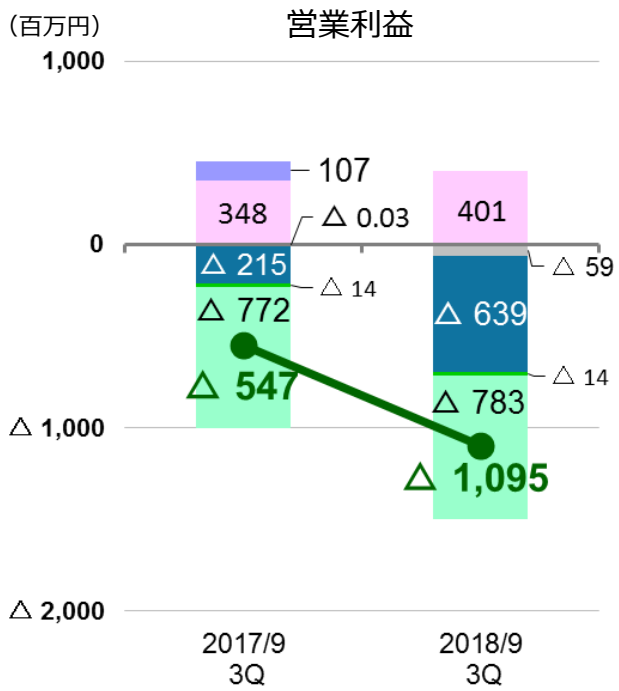
Copyright© FinTech Global Incorporated

連結業績ハイライト

（単位：百万円）	2017年9月期 第3四半期	2018年9月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	5,838	2,286	△3,552	△ 60.8%
売上総利益	1,505	1,319	△186	△ 12.4%
営業利益	△547	△1,095	△548	―
経常利益	△534	△1,197	△663	―
親会社株主に帰属する四半期純利益	△551	△874	△323	―







投資銀行事業　公共コンサルティング事業　エンタテインメント・サービス事業　その他　不動産事業　全社費用又は取引消去※　営業利益

※全社費用は主に合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費、取引消去はセグメント間取引の消去です。

Copyright© FinTech Global Incorporated

連結業績予想

売上総利益

４Qは企業投資・アセット投資回収により、業績伸長
投資銀行事業の売上総利益は、2,278百万円を見込む

当社出資のファンドFinTech GIMV Findが投資するライフサイエンス・プロジェクトがエグジット。2018/7/26付で6,652千米ドル（当社帰属の実質的な分配額は5,322千米ドル、日本円で5.8億円）の分配金を受領。当該エグジットが反映されたファンド決算書の受領により、収益計上見込。

前期・当期に投下された新規投資の一部の回収も見込む。

⇒投資銀行事業では期末に向けて、新たな案件組成によって予想値を上回る業績拡大を狙う

営業利益

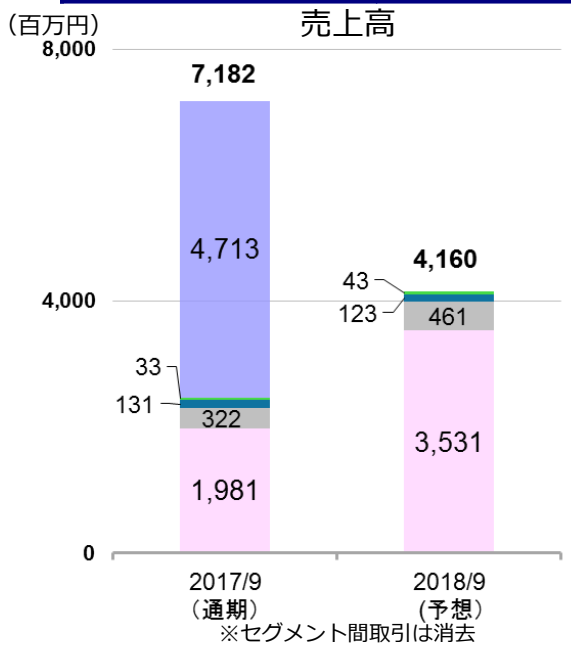
４Qは営業利益への貢献度が高い企業投資・アセット投資回収あり
投資銀行事業の営業利益は、1,098百万円を見込む
ただし、メッツァ関連費用及び全社費用を賄うまでに至らず

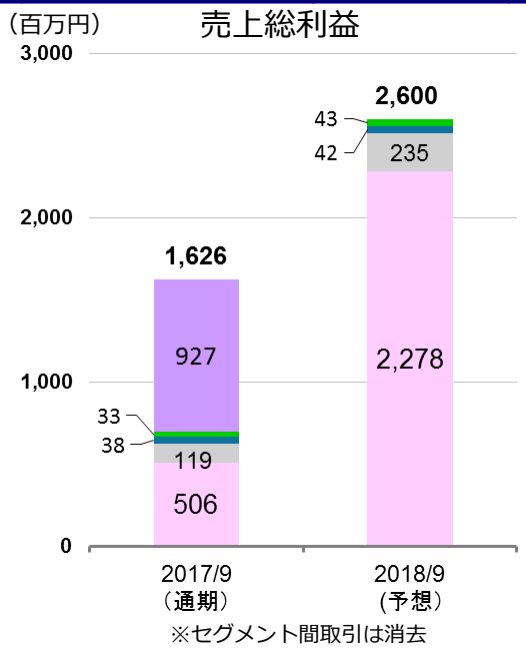
業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

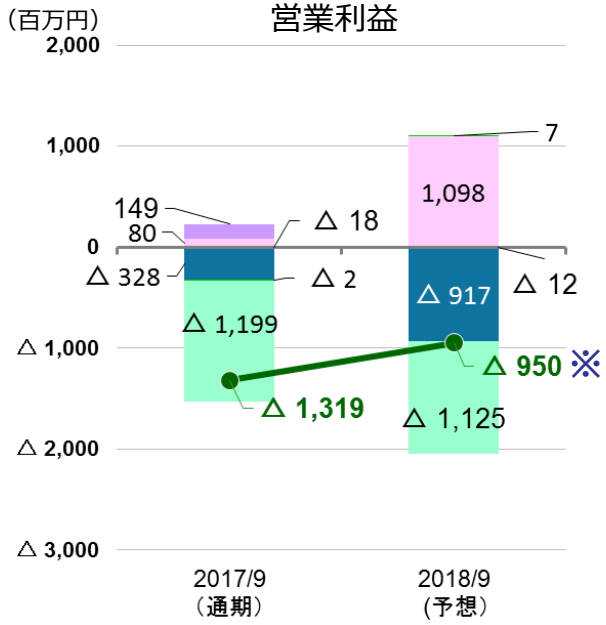
Copyright© FinTech Global Incorporated

連結業績予想

（単位：百万円）	2017年9月期 実績	2018年9月期 業績予想 (2018/5/28発表)	増減額	増減率	2018年9月期 第3四半期	業績予想 進捗率
売上高	7,182	4,160	△3,022	△ 42.1%	2,286	55.0%
売上総利益	1,626	2,600	973	59.9%	1,319	50.7%
営業利益	△1,319	△950	369	―	△1,095	―
経常利益	△1,341	△1,160	181	―	△1,197	―
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	△1,358	※ △730	628	―	△874	―







投資銀行事業　公共コンサルティング事業　エンタテインメント・サービス事業　その他　不動産事業　全社費用又は取引消去　営業利益

※投資先の不動産会社の売却益267百万円は、会計上では当該会社が連結子会社であるため、営業利益ではなく特別利益に計上。

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright© FinTech Global Incorporated

セグメント別業績

【単位：百万円、売上高、売上総利益、営業利益はセグメント間取引を含む。】

報告セグメント		2017年9月期 第3四半期	2018年9月期 第3四半期	前年同期比	主な連結会社
投資銀行事業 ※	売上高	1,891	1,921	29	当社、フィンテックアセットマネジメント フィンテックグローバルトレーディング フィンテックM＆Aソリューション FGIキャピタル・パートナーズ,SGI-Aviation
	売上総利益	694	1,186	491	
	営業利益	348	401	52	
公共コンサルティング事業	売上高	230	294	64	パブリック・マネジメント・コンサルティング ジオプラン・ナムテック
	売上総利益	89	128	39	
	営業利益	△ 0	△59	△59	
エンタテインメント・サービス事業	売上高	115	103	△12	ムーミン物語 飯能地域資源利活用合同会社 虎ノ門ハム
	売上総利益	35	36	0	
	営業利益	△215	△639	△424	
その他	売上高	6	13	7	アダコテック
	売上総利益	5	13	7	
	営業利益	△14	△14	0	
（不動産事業）	売上高	3,603	–	△3,603	（ベターライフサポートホールディングス ベルス、ユニハウス、ベターライフハウス ベターライフプロパティ）
	売上総利益	685	–	△685	
	営業利益	107	–	△107	
調整額 （セグメント間取引消去又は全社費用）	売上高	△7	△46	△38	
	売上総利益	△5	△45	△39	
	営業利益	△772	△783	△10	
連結ＰＬ計上額	売上高	5,838	2,286	△3,552	
	売上総利益	1,505	1,319	△186	
	営業利益	△547	△1,095	△548	

※ 企業投資の一環であった不動産事業のベターライフサポートホールディングス㈱の株式売却（2017年10月）については、投資銀行事業の売上高、営業利益には計上せず、特別利益（267百万円）に計上。

- ㈱パブリック・マネジメント・コンサルティングは、2017年９月期第2四半期より連結、飯能地域資源利活用合同会社は、2017年9月期第4四半期より連結。
- 不動産事業の連結子会社は、株式売却により2018年9月期第1四半期より連結除外。
- SGI-Aviation Services B.V.は2018年9月期第2四半期、フィンテックM＆Aソリューション㈱、㈱ジオプラン・ナムテックは2018年9月期第3四半期より連結。

・調整額（営業利益）（2018年9月期3Qは△783百万円）には、セグメント間取引消去（2018年9月期3Qは97百万円）及び報告セグメントに配分していない全社費用（2018年9月期3Qは△880百万円）が含まれております。全社費用は、主に合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

・2017年9月期に報告セグメントの区分を変更しているため、2017年9月期第3四半期の業績は、変更後の区分により作成しております。

Copyright© FinTech Global Incorporated

事業、決算の詳細

- セグメント別の事業状況
- 投資銀行事業セグメント―業務別売上高、売上総利益
- 投融資残高、受託資産残高の推移
- 連結財務諸表
- 経営計画（2019年9月期、2020年9月期の目標値）
- トピックス

Copyright© FinTech Global Incorporated

2018年9月期 第3四半期　セグメント別の事業状況

投資銀行事業

投資銀行業務

アセット投資/AM/M＆Aへ経営資源投入。4Qにアセット投資回収予定。

- １Qより投資運用会社を新規連結。
- アセット投資では、1Qにメッツァに隣接する不動産を証券化し売上256百万円、営業利益195百万円。また運用不動産売却により売上432百万円。
  航空機アセットマネジメント会社(SGI-Aviation Services)の持株会社の株式取得。2Qより損益を連結。
- 事業承継ニーズに対応するため、M＆A仲介を専門に取り扱う子会社を設立。3Qより連結。

企業投資

投資回収収益は限定的。ファンド投資は4Qに大型回収の収益計上予定。

- 米国ファンド・国内の企業へ新規投資するも、3Qまでの収益は限定的。
- 4Qに入りライフサイエンス・プロジェクトのエグジットによりFGFから分配金5.3百万ドル（当社持分金額、円換算589百万円）受領。4Q受領予定のファンド決算により収益計上予定（収益額は未確定）。
- 投資先の不動産会社の売却益267百万円は特別利益に計上。

メッツァ事業（開発・ファイナンス）

建設工事は計画通り進行。

- 一部を除き上棟。内外装等の仕上工事が進行。一部外構工事を開始。
- メッツァビレッジ建設資金調達のため、第18回新株予約権を発行。2018年6月末まで15.1億円を調達。

エンタテインメント・サービス事業

ムーミン物語が資本増強。資本金/資本準備金合計は18年8月、29億円に

- ㈱ムーミン物語が㈱タトル・モリ エイジェンシー、Moomin Characters Oy Ltdとともに、日本のムーミンのライセンスを一括管理する㈱ライツ・アンド・ブランズを設立。
- メッツァビレッジ（2018年11月９日開業予定）の北欧企業等とテナント契約が進む。
- メッツァ開業のための先行投資等により、販管費が増加。
- ムーミン物語は大手企業等への第三者割当増資により、2018年２～8月に16.6億円(予定含む)調達。財務基盤強化。

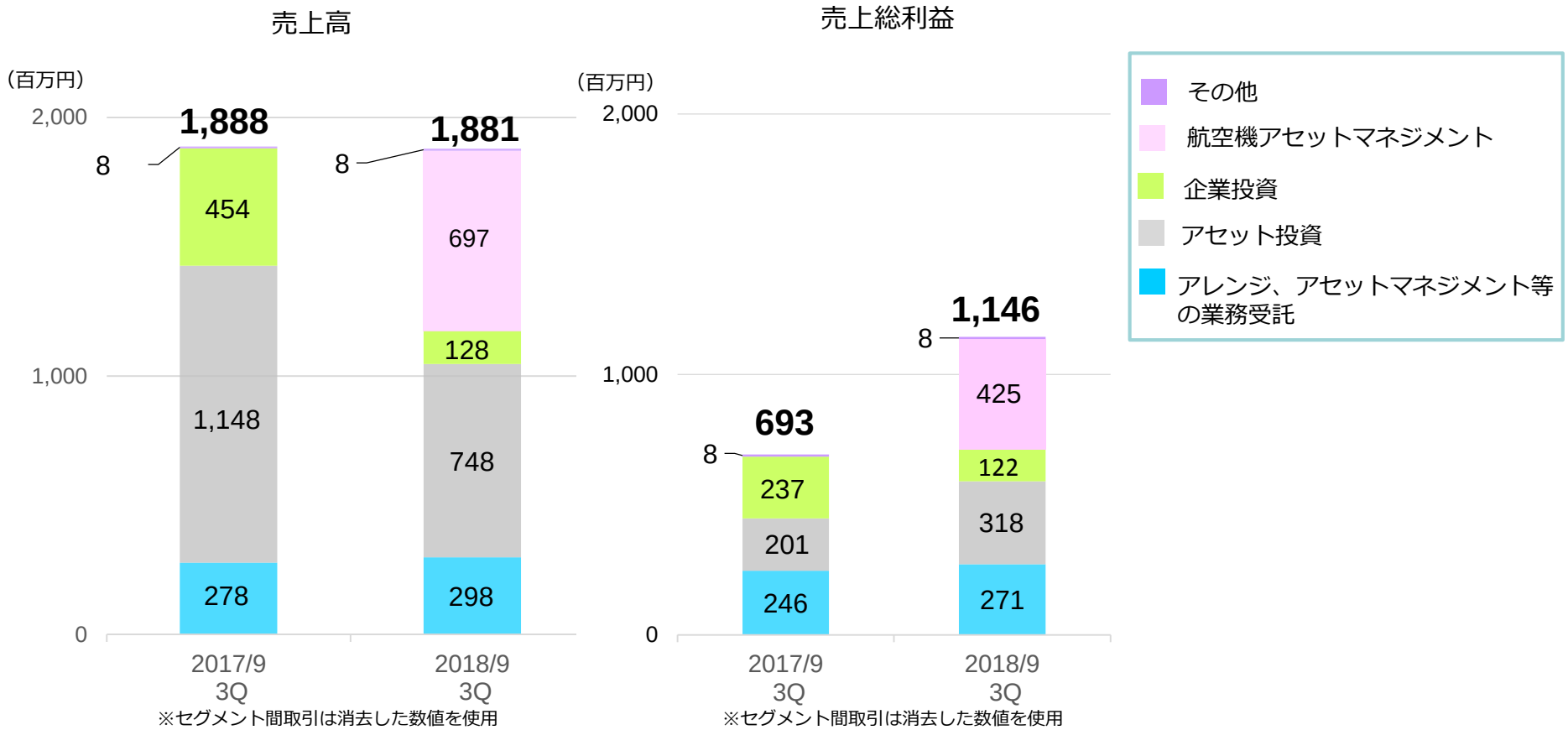
公共コンサルティング事業

財務書類コンサルと並行し、PPP/PFI・公営企業会計のコンサル体制整備。

- 拡大見込のPPP/PFI手法の導入検討や公営企業会計適用推進。
- 既取引自治体への経営戦略策定等へのコンサル受託推進。

Copyright© FinTech Global Incorporated

投資銀行事業セグメント－業務別売上高、売上総利益



投資銀行事業の売上総利益は、前３Q比65.7%増。

M＆Aにより、 航空機アセットマネジメントを行うSGI-Aviation Services等を2Qから連結し、売上総利益が増加。

業務受託等によるフィー収入・企業投資・アセット投資回収等の主力分野は横ばいながら、特別利益に計上されている不動産会社の株式売却益267百万円を加算すれば、大きく本業が伸長している。

４Qには既にFGF分配金等もあり、更なる伸長を見込む。

Copyright© FinTech Global Incorporated

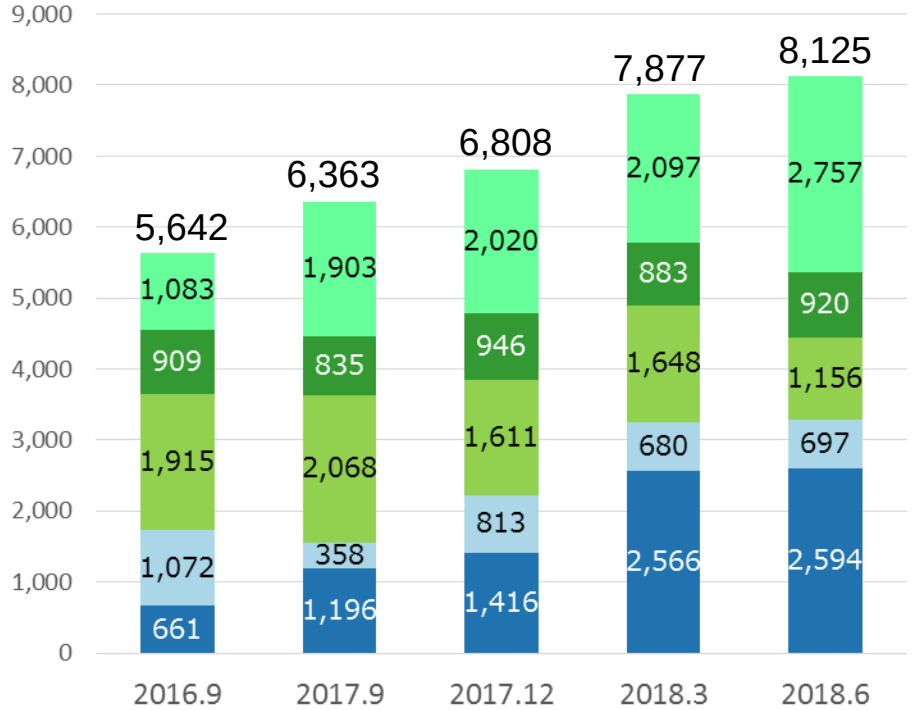
投融資残高の推移（FGI,FGT合計）

FGIグループの投融資を適切に理解していただくため、自己投融資を行う当社、フィンテックグローバルトレーディングの投融資の合計額を記載しております。なお、子会社への出資も含みますが、2社間の出資・貸付は含みません。

2018年9月期3Q(2017/10～2018/6)の主な変動要因）

- ・プリンシパルインベストメント　インフラ管理会社等への新規投資(子会社化）、不動産所有のSPCへ投資。
- ・ベンチャーキャピタルファンド　テクノロジーカンパニーを投資対象とする米国ベンチャーファンドへの新規投資。
- ・企業融資　不動産事業の子会社・ムーミン物語への貸付回収。SGIグループの株式取得のため、SPCに貸付。
- ・不動産等(投資銀行事業)　運用不動産を売却するも、都心部で開発用不動産の取得により、増加。
- ・不動産等（メッツァ）　メッツァ隣接地を売却するも、メッツァビレッジ建設工事進捗に伴い、増加。

（単位：百万円）



プリンシパルインベストメント
ベンチャーキャピタルファンドへの投資を除く営業投資有価証券、投資有価証券、関係会社株式、関係会社出資金、出資金の合計額。

ベンチャーキャピタルファンド
（FinTech GIMV Fund等への投資）

企業融資
営業貸付金、子会社への短期貸付金の合計額。全額引当している債権は含めないが、子会社貸付は全額計上。

不動産等(投資銀行事業)
投資銀行事業における運用不動産、開発用不動産。BSでは仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。

不動産等(メッツァ)
メッツァにおける不動産。
メッツァビレッジの不動産は仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。ムーミンバレーパークの土地は、法的には地域SPCに譲渡しているが会計上は当社固定資産に計上しているため、当該金額に含めている。
（注）FGI、FGT間の出資・貸付は、含めず。

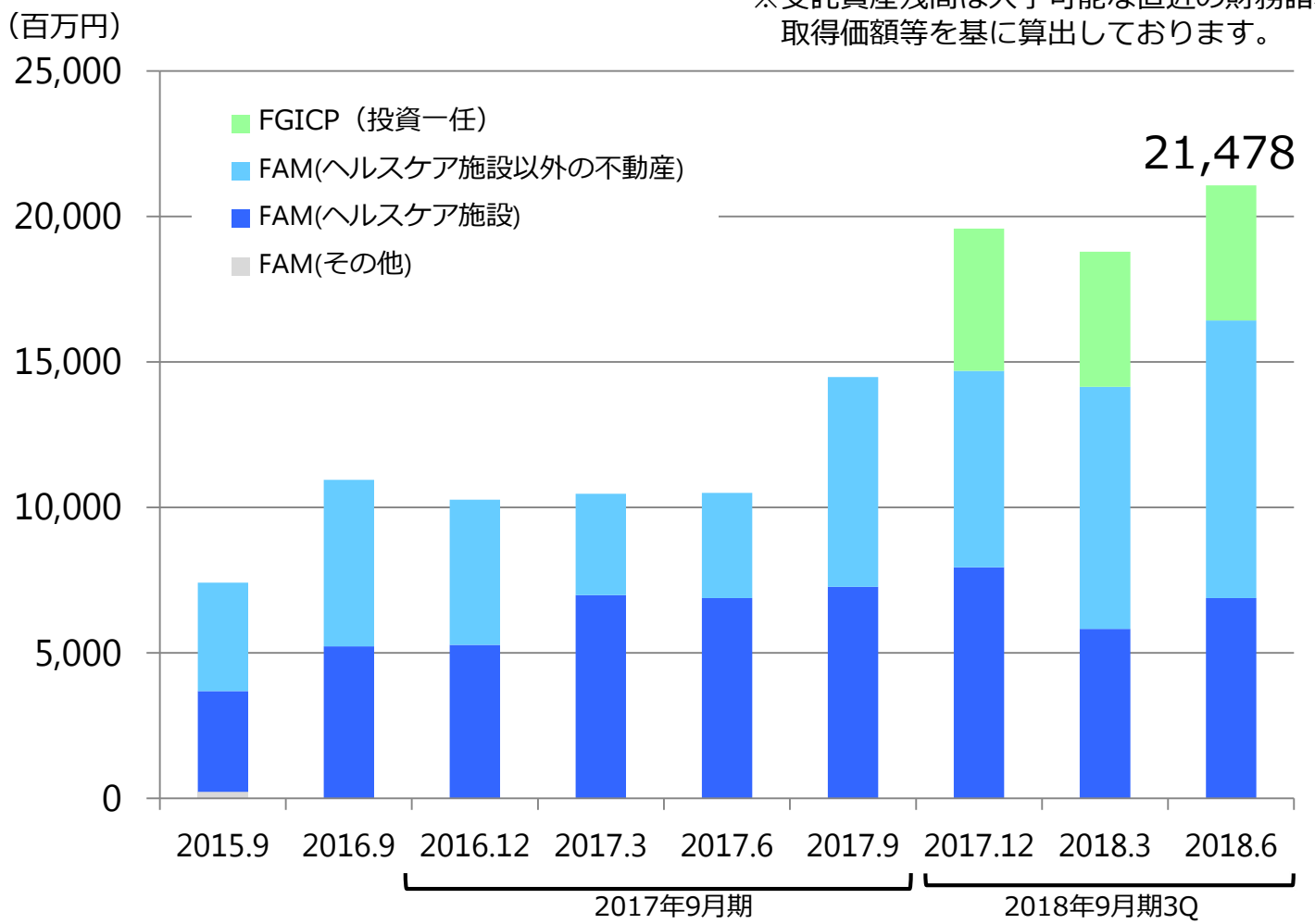
Copyright© FinTech Global Incorporated

受託資産残高の推移

フィンテックアセットマネジメント（FAM）
FGIキャピタル・パートナーズ　　（FGICP）

一部の物件売却するも、ヘルスケア施設の開発や施設リニューアル等の工事進捗により
グループの受託資産残高は前期末比48.4%増加。

※ヘルスケア施設：高齢者向け住宅を主とする施設
※受託資産残高は入手可能な直近の財務諸表や不動産の
取得価額等を基に算出しております。



Copyright© FinTech Global Incorporated

連結貸借対照表

（単位： 千円）

資産の部

		17年9月期	18年9月期 第3四半期	増減
	流動資産	10,122,083	9,523,102	△ 598,981
	現金及び預金	3,219,805	3,448,148	228,343
1	受取手形・売掛金	196,840	481,324	284,484
2	営業投資有価証券	1,069,032	1,815,346	746,314
	営業貸付金	609,147	590,924	△ 18,223
3	販売用不動産	2,287,519	302,981	△ 1,984,538
4	仕掛販売用不動産	2,556,159	2,533,685	△ 22,473
	商品	10,084	18,382	8,298
	その他	257,235	449,077	191,841
	貸倒引当金	△ 83,739	△ 116,768	△ 33,028
	固定資産	2,810,440	3,870,363	1,059,922
5	有形固定資産	2,238,234	3,192,463	954,228
6	無形固定資産	38,609	340,439	301,829
	投資その他の資産	533,596	337,460	△ 196,135
	資産合計	12,932,524	13,393,465	460,941

負債の部

		17年9月期	18年9月期 第3四半期	増減
	流動負債	3,785,430	5,021,634	1,236,203
	支払手形・買掛金	152,025	99,791	△ 52,234
7	短期借入金	2,751,380	24,994	△ 2,726,386
7	1年内償還予定の社債	30,000	—	△ 30,000
7	1年内返済予定の長期借入金	293,847	3,319,058	3,025,210
	未払法人税等	42,335	34,455	△ 7,880
	賞与引当金	72,795	56,705	△ 16,089
	その他	443,045	1,486,629	1,043,583
	固定負債	3,820,631	938,122	△ 2,882,509
	社債	30,000	—	△ 30,000
7	長期借入金	3,513,399	814,515	△ 2,698,884
	繰延税金負債	113,485	—	△ 113,485
	退職給付に係る負債	119,661	85,462	△ 34,198
	その他	44,085	38,144	△ 5,940
	負債合計	7,606,062	5,959,756	△ 1,646,305

純資産の部

	株主資本	4,800,789	6,123,649	1,322,859
8	資本金	4,549,016	5,305,195	756,178
8	資本剰余金	1,812,727	3,252,490	1,439,762
	利益剰余金	△ 1,560,954	△ 2,434,036	△ 873,081
	その他の包括利益累計額	△ 530	6,555	7,086
	新株予約権	50,142	59,673	9,531
9	非支配株主持分	476,060	1,243,829	767,769
	純資産合計	5,326,461	7,433,708	2,107,246
	負債純資産合計	12,932,524	13,393,465	460,941

1 SGI-Group、ジオプラン・ナムテックの新規連結により増加。

2 不動産関連案件、米国ベンチャーファンドへの新規投資、企業投資実行により増加。

3 不動産事業子会社の連結除外、メッツァ隣接地・投資運用不動産売却により減少。

4 不動産事業子会社の連結除外により減少するも、不動産案件投資、メッツァビレッジ工事代金支払により微減に留まる。(1Q末比1,411百万円増、2Q末比44百万円増)

5 不動産事業子会社の連結除外により賃貸用不動産等が減少するも、ムーミンバレーパーク工事により建設仮勘定増加。(1Q末比1,557百万円増、2Q末比1,072百万円増)

6 SGI-Group、ジオプラン・ナムテックの株式取得により、のれんが増加。

7 不動産事業子会社の連結除外により短期借入金、長期借入金減少。メッツァのSPC借入2,000百万円（注）を長期借入金から1年内返済予定の長期借入金へ振替。
（注）当該借入返済時、金融機関等が当該SPCに対し貸付を実行する契約有

8 第18回新株予約権行使により資本金、資本剰余金が増加。
ムーミン物語の増資により資本剰余金が増加。

9 ムーミン物語の増資等により増加。

連結損益計算書

（単位： 千円）

	2017年9月期 第3四半期	売上比	2018年9月期 第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	5,838,996	100.0%	2,286,483	100.0%	△ 3,552,513	△ 60.8%
売上原価	4,333,425	74.2%	967,095	42.3%	△ 3,366,329	△ 77.7%
売上総利益	1,505,571	25.8%	1,319,387	57.7%	△ 186,184	△ 12.4%
販売費及び一般管理費	2,052,768	35.2%	2,415,156	105.6%	362,388	17.7%
営業損失（△）	△ 547,196	△ 9.4%	△ 1,095,768	△ 47.9%	△ 548,572	－
営業外収益	87,004	1.5%	12,163	0.5%	△ 74,841	△ 86.0%
営業外費用	73,978	1.3%	114,174	5.0%	40,196	54.3%
経常損失（△）	△ 534,169	△ 9.1%	△ 1,197,780	△ 52.4%	△ 663,610	－
特別利益	9,983	0.2%	291,063	12.7%	281,079	2,815.5%
特別損失	1,081	0.0%	670	0.0%	△ 410	△ 38.0%
税金等調整前四半期純損失（△）	△ 525,267	△ 9.0%	△ 907,387	△ 39.7%	△ 382,119	－
法人税等	26,853	0.5%	30,900	1.4%	4,047	15.1%
四半期純損失（△）	△ 552,121	△ 9.5%	△ 938,288	△ 41.0%	△ 386,166	－
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 993	△ 0.0%	△ 63,779	△ 2.8%	△ 62,785	－
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 551,128	△ 9.4%	△ 874,509	△ 38.2%	△ 323,381	－

1 航空機アセットマネジメント会社を新規連結するも、不動産事業子会社の株式売却による連結除外（同事業の前年同期売上3,603百万円）等により　売上高60.8%減、売上原価77.7%減。

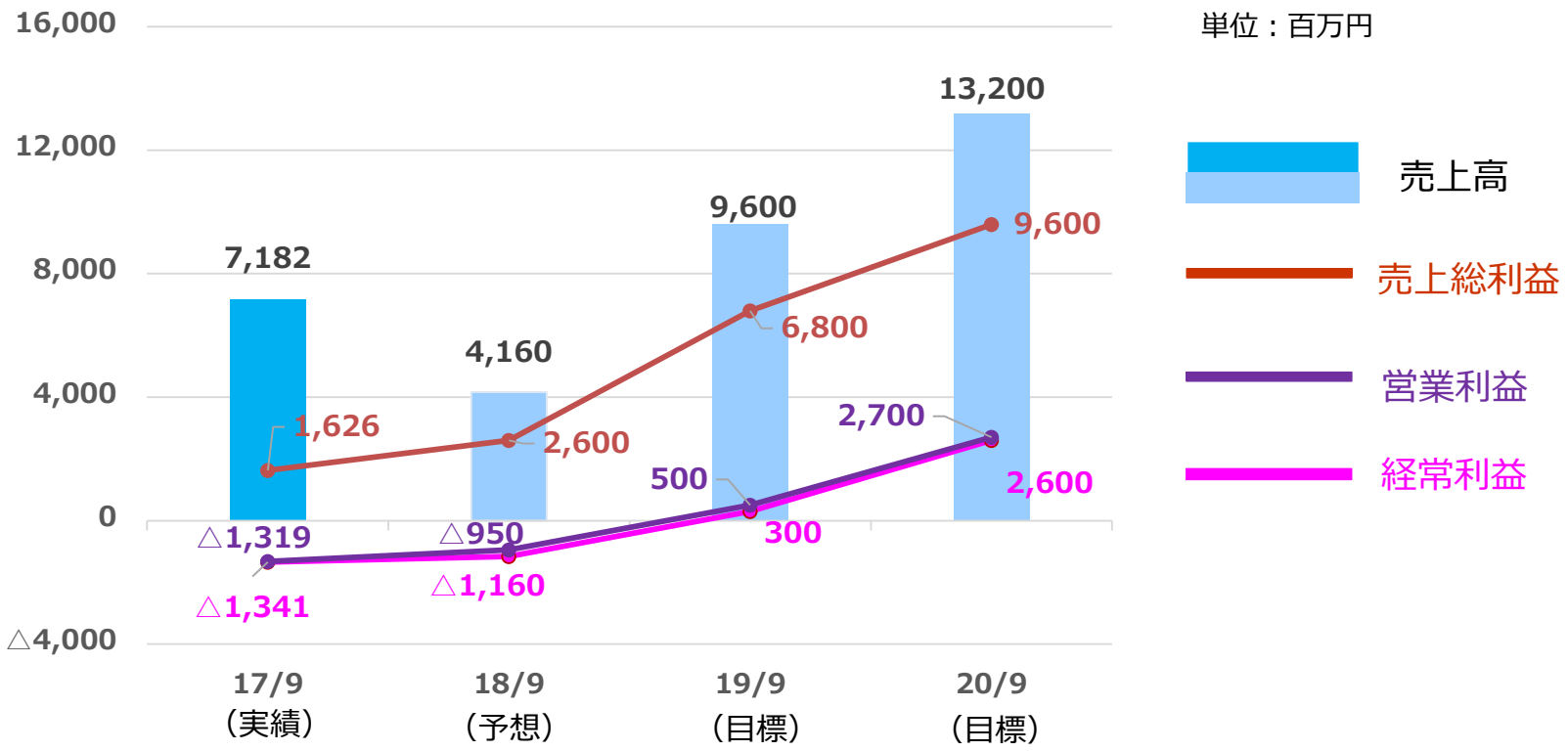
2 不動産事業の費用（前３Qは578百万円）がなくなるも、メッツァ開業準備の先行投資６億円や、新規連結子会社による費用計上、本社移転により一時的に地代家賃等増加により、販管費17.7%増。

3 メッツァ不動産保有のSPC等の支払利息50百万円、外貨建ベンチャーファンドへの投資等に係る為替差損41百万円。

4 不動産事業の子会社株式売却による関係会社株式売却益267百万円。

Copyright© FinTech Global Incorporated

経営計画（2019年9月期、2020年9月期の目標値　ー　2018年5月28日公表）



2019年9月期

・本業の投資銀行事業に対し、人的・資金的リソースをさらに配分。
・2018年11月 メッツァビレッジ開業。テナント賃料、駐車場収入、レストラン運営等の売上。
・2019年3月　ムーミンバレーパークグランドオープン。入場料、有料施設、飲食・物販収入等の売上。
・㈱ライツ・アンド・ブランズを連結。ムーミンのテーマパーク事業とライセンス事業の相乗効果を見込む。
・メッツァの人件費等の負担が大きくなる一方で、ムーミンバレーパークの運営収益は下半期のみ。

2020年9月期

・メッツァビレッジ、ムーミンバレーパークの運営収益を年間で取込。業績大幅伸長を見込む。

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright© FinTech Global Incorporated

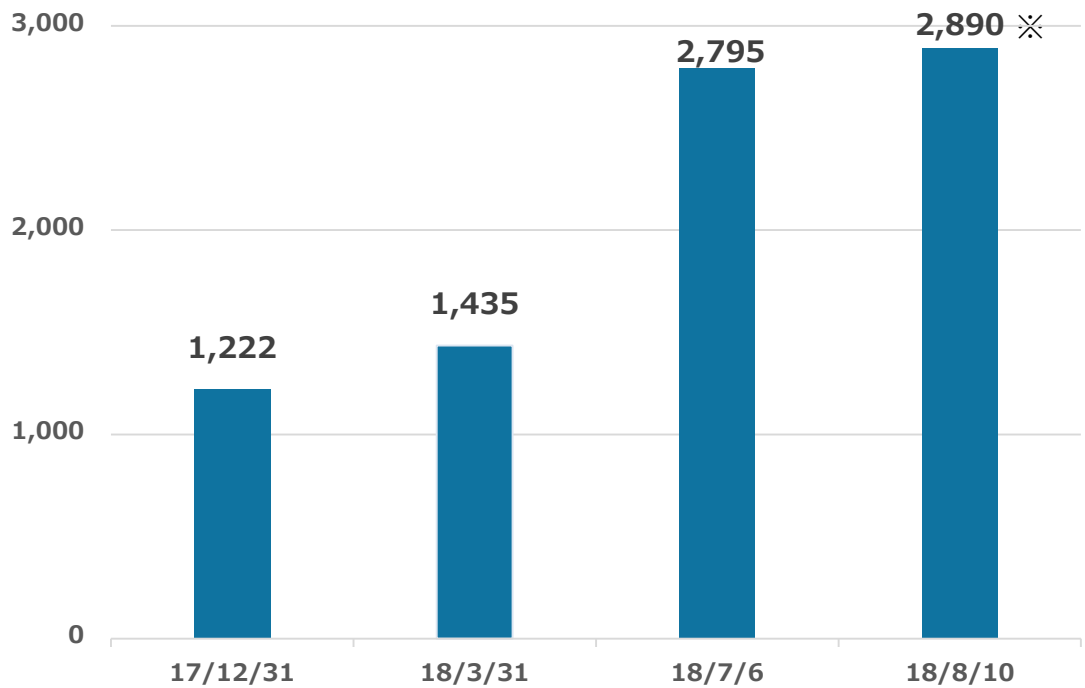
トピックス　－　メッツァ開業に向けた活動状況　①

＜㈱ムーミン物語の資本増強による財務基盤強化＞

- ✓ メッツァ開業準備等の順調な進捗による企業価値の高まりと今後の事業展開（設備投資、事業運営等）を踏まえて、外部投資家等に複数回の第三者割当増資を実行
- ✓ 当社の持株比率は2017年12月末の99%（当社出資のファンド保有の株式を含む）から2018年8月10日に63.1%となる予定。

㈱ムーミン物語の資本金・資本準備金の合計額推移

単位：百万円



※８/10を払込期日とする増資分を含む

Copyright© FinTech Global Incorporated

トピックス　－　メッツァ開業に向けた活動状況　②

<プロモーション、コミュニケーション>

SNS（インスタグラム、フェイスブック、ツイッター）

・フォロワーが拡大中
（インスタグラムの2018/8/8現在のフォロワー実績）
メッツァビレッジ　　3,391
ムーミンバレーパーク　5,746
・2018年7月よりインスタグラムでWeb広告開始

Webサイト等

・ティザーサイトから本サイトへ移行（2018/4/27）
・バージョンアップ（2018/8～9予定）のためのサイト構築
・PR用の各種コンテンツ制作

イベント参加

・HANNO GREEN CARNIVAL2018出店（2018/6/2-6/3）
ムーミンバレーパークのエントランスのアプローチに、
ウエルカムモニュメントが残せるワークショップ開催

・香港ブックフェア2018（2018/7/18－7/24）
埼玉県ブースでムーミンバレーパーク出店

・ムーミンマーケット（西武池袋店 2018/7/19 -8/1）
ムーミンバレーパークのブース出店

香港ブックフェア2018のPR活動

© Moomin Characters ™

Copyright© FinTech Global Incorporated

トピックス　－　メッツァ開業に向けた活動状況　③

＜地域との連携＞

地方自治体

・飯能市・・「地方創生に関する基本協定」
（FGI、2015/6/30）

・埼玉県・・「観光分野における連携協定」
（ムーミン物語、2018/6/8）

埼玉県との「観光分野における連携協定」の調印式

学校

・駿河台大学・・「連携協力に関する基本協定」
（FGI、2016/12/6、ムーミン物語、2017/12/19）

・城西大学・・「連携協力に関する基本協定」
（ムーミン物語、2017/12/7）

Copyright© FinTech Global Incorporated

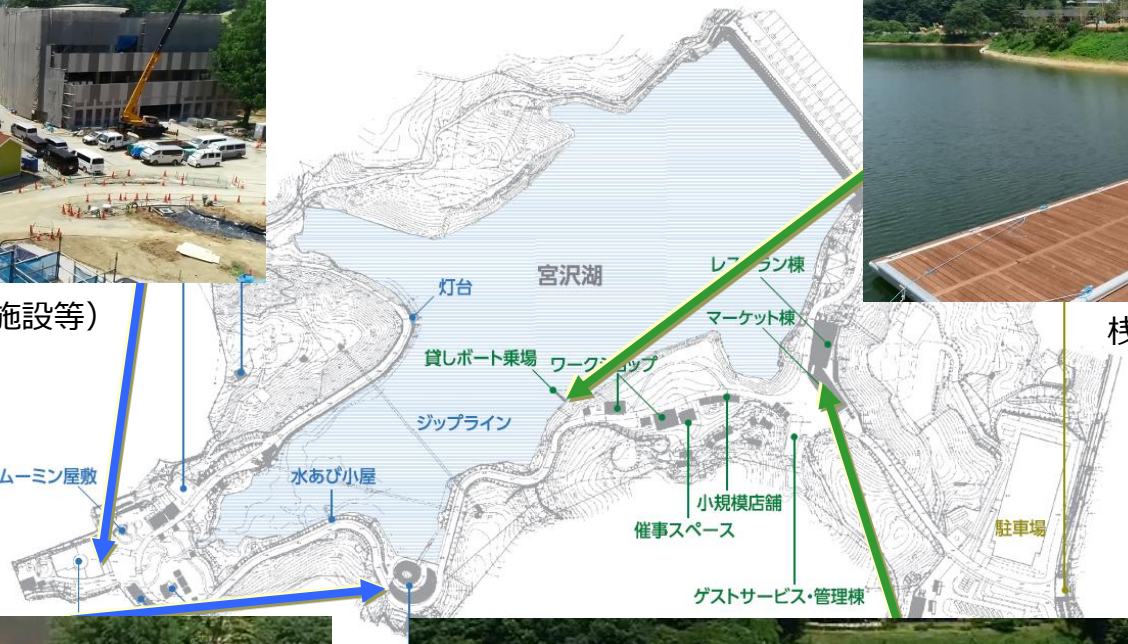
トピックス　－　メッツァ開業に向けた活動状況　④

＜建設工事＞

建物は一部を除き上棟。内外装等の仕上工事が進行。一部外構工事を開始。（写真は2018年7月現在）

ムーミン谷エリア（展示施設等）

桟橋



ゲートハウス

レストラン棟（左）、マーケット棟（右）

Copyright© FinTech Global Incorporated

トピックス　－　メッツァ開業に向けた活動状況　⑤

＜ムーミンの日＞

8/9にファンイベント開催。ムーミンバレーパーク開業日および展示施設エリアなどの最新情報を公開。

© Moomin Characters ™

Copyright© FinTech Global Incorporated

トピックス ― ㈱アダコテックの技術がトンネル異常自動判定に実用化

子会社㈱アダコテックが、㈱三井Ｅ＆Ｓホールディングスのグループ会社である㈱三井Ｅ＆Ｓマシナリーが提供するトンネル覆工検査サービスに、㈱アダコテックの機械学習技術を組み合わせ、検査判定の自動化を実現

- ✓ トンネル長寿命化のための調査・点検の技術者不足を検査の自動化により解決し、さらに精度を向上させるものであり、「定常状態を起点に、逸脱を検知する」というアダコテックの技術特性がインフラ設備の維持管理に適用されたもの
- ✓ ㈱アダコテックは、今回のプロジェクトをはじめとして様々な産業・業務分野から引き合いを受けており、順次、各プロジェクトの適用、応用を進めております。

＜㈱アダコテックについて＞

㈱アダコテックは、国立研究開発法人 産業技術総合研究所の革新的な技術である「高次局所自己相関特徴抽出法」を用いた学習型パターン認識を発展させ、様々な分野へ応用しています。
「定常状態を起点に、逸脱を検知する」「少ない正常サンプルからでも明瞭に異常を検出できる」という技術特性を活かして、

・生産現場における製品検査、不具合予兆検知、メンテナンスタイミング最適化、交換部材延命化
・警備・警戒・セキュリティ

など多種多様な産業・業務分野への適用、応用を重ねています。

Copyright© FinTech Global Incorporated

参考資料

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- 連結経営指標等の推移（６期分）
- 会社概要

Copyright© FinTech Global Incorporated

個別貸借対照表

（単位： 千円）

資産の部

	17年9月期	18年9月期 第3四半期	増減
流動資産	6,090,329	7,287,906	1,197,576
現金及び預金	1,801,547	1,945,430	143,882
売掛金	6,646	9,592	2,945
営業投資有価証券	970,092	1,713,514	743,421
営業貸付金	609,147	588,328	△ 20,819
短期貸付金	1,998,294	176,154	△ 1,822,140
販売用不動産	346,503	302,981	△ 43,521
仕掛販売用不動産	407,183	2,533,685	2,126,502
その他	192,498	293,642	101,144
貸倒引当金	△ 241,583	△ 275,422	△ 33,838
固定資産	2,545,382	3,461,903	916,520
有形固定資産	500,242	795,078	294,836
無形固定資産	19,278	16,859	△ 2,419
投資その他の資産	2,025,862	2,649,965	624,103
資産合計	8,635,712	10,749,810	2,114,097

負債の部

	17年9月期	18年9月期 第3四半期	増減
流動負債	649,984	1,118,951	468,966
買掛金	1,249	13,113	11,863
短期借入金	225,000	119,994	△ 105,006
1年内返済予定の長期借入金	144,866	23,254	△ 121,612
未払金	52,203	36,466	△ 15,736
預り金	89,525	772,780	683,255
前受金	19,995	7,390	△ 12,604
賞与引当金	38,446	11,554	△ 26,892
その他	78,699	134,398	55,699
固定負債	2,297,051	2,823,051	526,000
長期借入金	2,173,634	2,720,162	546,528
退職給付引当金	91,842	81,063	△ 10,779
その他	31,574	21,826	△ 9,748
負債合計	2,947,035	3,942,002	994,966

純資産の部

株主資本	5,640,763	6,743,101	1,102,337
資本金	4,549,016	5,305,195	756,178
資本剰余金	2,114,239	2,870,417	756,178
利益剰余金	△ 1,022,492	△ 1,432,511	△ 410,018
評価・換算差額等	ー	13,947	13,947
新株予約権	47,913	50,759	2,845
純資産合計	5,688,677	6,807,808	1,119,130
負債純資産合計	8,635,712	10,749,810	2,114,097

Copyright© FinTech Global Incorporated

個別損益計算書

（単位： 千円）

	2017年9月期 第3四半期	売上比	2018年9月期 第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	1,019,994	100.0%	661,208	100.0%	△ 358,785	△ 35.2%
売上原価	487,437	47.8%	109,569	16.6%	△ 377,867	△ 77.5%
売上総利益	532,557	52.2%	551,639	83.4%	19,082	3.6%
販売費及び一般管理費	1,030,770	101.1%	1,181,596	178.7%	150,825	14.6%
営業損失（△）	△ 498,213	△ 48.8%	△ 629,956	△ 95.3%	△ 131,743	―
営業外収益	278,171	27.3%	113,529	17.2%	△ 164,642	△ 59.2%
営業外費用	182,397	17.9%	121,747	18.4%	△ 60,649	△ 33.3%
経常損失（△）	△ 402,438	△ 39.5%	△ 638,175	△ 96.5%	△ 235,736	―
特別利益	9,178	0.9%	220,521	33.4%	211,342	2,302.5%
特別損失	799	0.1%	902	0.1%	102	12.8%
税引前四半期純損失（△）	△ 394,059	△ 38.6%	△ 418,556	△ 63.3%	△ 24,496	―
法人税等	△ 18,043	△ 1.8%	8,537	1.3%	26,580	―
四半期純損失（△）	△ 376,016	△ 36.9%	△ 410,018	△ 62.0%	△ 34,002	―

Copyright© FinTech Global Incorporated

連結経営指標等の推移

		2013年 ９月期	2014年 ９月期	2015年 ９月期	2016年 ９月期	2017年 9月期	2018年9月期 第3四半期
売上高	（百万円）	1,603	3,911	5,429	7,485	7,182	2,286
売上総利益	（百万円）	1,468	2,398	2,495	1,496	1,626	1,319
営業利益又は営業損失(△)	（百万円）	△ 31	555	115	△ 1,031	△ 1,319	△ 1,095
経常利益又は経常損失(△)	（百万円）	88	684	237	△ 1,369	△ 1,341	△ 1,197
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	（百万円）	182	923	224	△ 1,384	△ 1,358	△ 874
純資産額	（百万円）	2,716	5,534	7,879	6,312	5,326	7,433
総資産額	（百万円）	4,770	7,452	11,958	10,975	12,932	13,393
１株当たり純資産額	（円）	22.23	37.41	48.31	38.66	29.64	34.20
１株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	（円）	1.52	6.92	1.48	△ 8.56	△ 8.39	△ 5.23
潜在株式調整後 １株当たり当期純利益金額	（円）	1.52	6.89	1.47	–	–	–
自己資本比率	（%）	56.4	73.9	65.4	57.0	37.1	45.8
自己資本利益率	（%）	7.2	22.5	3.4	△ 19.7	△ 24.6	△ 15.6
株価収益率	（倍）	21.9	9.2	84.7	–	–	–
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 464	△ 2,208	△ 1,791	△ 1,305	△1,153	–
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	85	509	△ 644	△ 302	△ 1,026	–
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 128	2,065	4,761	△ 751	2,937	–
現金及び現金同等物の期末残高	（百万円）	1,644	2,024	4,612	2,240	2,969	–
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	（人）	51(13)	109(7)	117(8)	114(20)	143(27)	154(30)
従業員数（単体） （外、平均臨時雇用者数）	（人）	26(3)	24(3)	38(3)	45(8)	40(6)	41(4)

当社は、2014年４月１日を効力発生日として、１株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割が2013年9月期の期首に行われたと仮定して、１株当たり純資産額、１株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額（△）及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額を算定しております。

Copyright© FinTech Global Incorporated

フィンテック　グローバル株式会社　会社概要

本店所在地	東京都品川区上大崎3－1－1　目黒セントラルスクエア15階
設立	1994年12月7日
代表	代表取締役社長　玉井　信光
上場日	2005年6月8日
証券コード	8789 (東京証券取引所マザーズ市場)
事業年度	10月1日から9月30日まで
事業内容	①投資銀行事業　②公共コンサルティング事業 ③エンタテインメント・サービス事業
発行済株式総数	179,244,400株　(2018年６月30日現在)
単元株式数	100株
資本金	5,305百万円　　(2018年6月30日現在)
連結純資産	7,433百万円　　(2018年6月30日現在)
大株主 (2018年3月31日現在)	玉井　信光　20,095,500　(11.96%) 藤井　優子　3,776,400　(2.25%) 青島　正章　1,708,000　(1.02%) 田村　直丈　1,676,000　(1.00%) ロバート・ハースト　1,535,000　(0.91%)
連結従業員数	154名　　(2018年6月30日現在、臨時従業員含まず)

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、
フィンテック グローバル株式会社の登録商標であります。

Copyright© FinTech Global Incorporated

免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2018年9月期第3四半期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」ということがあります）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性がありますが、その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

Copyright© FinTech Global Incorporated

FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック　グローバル株式会社

http://www.fgi.co.jp/

Copyright© FinTech Global Incorporated